



学校&医療福祉のための鑑賞プログラム



思考力

道徳教育

共感力

遊んで学ぶ
鑑賞教育

観察力

相互理解

コミュニケーション能力

聞く力

診断力

想像力

～鑑賞教育が育む力と可能性とは～

熊本県立美術館では、遊んで学べる鑑賞ツール「アートカード」の活用や対話型鑑賞を取り入れた「鑑賞プログラム」を実施します。

「芸術鑑賞」、「鑑賞教育」というとなんとなく堅苦しく、かしこまってしまうかもしれませんが、気軽に楽しめ、さらに様々な力を育めることをご存じでしょうか。最近では、学校等の教育現場だけでなく医療福祉の現場でも注目を浴びています。

「アートカード」はゲームを通して、子ども達の観察力・思考力・想像力を育てます。また、鑑賞能力を高めるだけでなく、言語活動の活発化やコミュニケーション能力の向上が期待されます。これらの力は、多くの人と関わる先生方や医療従事者のみなさまにとっても必要とされる力です。今回のプログラムで、体験いただくことが可能です。この機会に、ぜひご参加ください。



2024年6月16日(日) 13時30分～16時 (受付13時～)

対象 教職員または教育に携わる方、及び医療福祉に携わる方

参加費 細川・美術館コレクション展観覧料のみ (一般280円)
※熊本県公立学校共済組合の方は、組合員証提示にて1回無料でご覧いただけます。

定員 25人程度

場所 熊本県立美術館本館 文化交流室等

申込 グーグルフォームによるお申し込み→→



教育関係者申込



福祉医療関係者

STEP 1

「アートカード」の遊び方と効果

鑑賞の楽しみ方をゲーム感覚で学べる「アートカード」。

「みて」→「考えて」→「話す・伝える」を繰り返し、互いに対話しながら、効果について、実際に体験しながら確認する。

STEP 2

本物の作品と向き合って
～美術館コレクション～

アートカードで観察力を高めた後、実際に展覧会鑑賞をする。また、対話型鑑賞を通して思考の深まり方を体験する。

STEP 3

鑑賞教育の充実をめざして
～おしゃべりタイム～

グループごとに意見交換。アートカードの活用についてアイデアを出し合い、気づきを共有することで学びを深め、これからの実践へとつなげる。また、日頃の悩み等自由にお話できる場とする。